STA-100

はじめに

NuForceは、熱心なオーディオファイルが求めるクオリティとエレガントで控えめなサイズの筐体とを兼ね備えたステレオパワーアンプとしてSTA-100を開発しました。高能率で高性能なスイッチングアンプをオーディオグレードのパーツを用いて組み上げ、STA-100は真のNuForceパフォーマンスと価値を獲得しています。

STA-100のサイズは、1チャンネル当たり160W（4Ω）という高出力を誇るパワーアンプのイメージを裏切るものです。単なる出力のみで特質の全てを言い尽くすことは出来ませんが、数々の受賞歴を持つNuForceのV3モノラルアンプで培った技術を活用し、STA-100は音楽信号に込められた雷鳴のような低域、水晶のように澄みきった高域、そして真空管アンプを思わせる暖かな中域、それらを精緻に描き分け、緊張感を強いない疲れ知らずのサウンド、全ての要素を完璧な音楽的バランスで表出します。

NuForceオリジナルのフィードバック回路は、STA-100の高音質の基幹を成すものです。自己発振回路による400kHzのPWMスイッチング回路は、入力信号および、出力電流需要、そしてスピーカーのインピーダンス変動を絶えず調整します。信じ難いほどのスピードと正確性が、爆発的なダイナミクスや繊細なニュアンスを表現し、定評ある生き生きとしたNuForceサウンドでスピーカーから音楽を甦らせるのです。

STA-100は素晴らしいHiFiシステムやAVシステムの万全たる原動力として位置付けられるものです。ほど良いサイズとあか抜けた外観を備えるSTA-100こそお求めやすい価格帯での競合機種を色あせた存在にすることでしょう。

革新的な機能

- 高出力： 160W（ｘ2）チャンネル
- 控えめなサイズとモダンでエレガントな構造
- 超高性能PWM回路トポロジー
- スタイリッシュなシルバーとブラック仕上げ

ご使用上の注意事項

必ずお読みください！

警告！！

NuForceアンプのスピーカー出力を、サブウーファーを内蔵したアクティブタイプのスピーカーのハイレベル入力へ接続することはおやめください！！

NuForceのアンプ製品は、SP出力が電気的にGNDと切り離されているため、サブウーファーのハイレベル入力や、セミアクティブタイプのSPへの接続はしないでください。接続した場合、破損する可能性があります。

警告！！

電源コードのGND端子は、出来るだけアースと接続してください！

NuForceアンプと他の全ての機材のGNDが電源コードを経由して大地アースへ接続されていない場合は、無線周波数帯域へのノイズの放射が起こりえます。これは医療装置(例えばペースメーカー)、GPS用のデバイスや他の無線周波受信機へ干渉する恐れがあります。

※　アースが接続出来ない（されていない環境の）場合

- 3ピン（壁コンセント・タップ）をご使用の方
  CDプレーヤー等も含め、全ての機器のアースを揃えてください。CDプレーヤー等が2ピンプラグの場合は、必ず付属の変換アダプターを使い、NuForce製品をアースから切り離した状態でご使用ください。

- 2ピン（壁コンセント・タップ）をご使用の方
  NuForceのACケーブルに付属の3ピン⇒2ピン変換プラグを取り付けて、電源を接続してください。この時、CDプレーヤー等をはじめ他の機器との極性を必ず合わせてください。

※　NuForce製品と接続している機器の電源の極性が揃っていない場合、機器間で電位差が生じることがあり、例えばCDプレーヤーとNuForce製品の両方に触れると、微量の電気が流れピリピリすることがございます。
このような時は、全ての製品の主電源を切った上で、コンセントを差し直すなどして、NuForce製品及び接続している機器の電源の極性を揃えてください。

警告！！

無負荷状態について

使用部品の異常加熱、または破損を引き起こす可能性があるため、スピーカーを接続していない状態でNuForce STA-100を使用しないでください。

注意

NuForceアンプは、再生帯域が非常に広く、空中伝播性のノイズに対して影響を受けやすいため、たとえばFMチューナーを接続している場合は、アンテナからの距離を10m程度は確保して、接続用のケーブルは同軸タイプのシールドが確実に為されているものをご使用ください。
万が一アンプが過熱のために防護回路が作動してシャットダウンしてしまった場合は、電源をOFFにしてしばらく放置してクールダウンさせてから、再度電源をONにしてください。

注意

- フローティングしているスピーカー出力端子 -
回路構成上、SP出力に24VのDCが発生してしまうため、NuForceアンプのSP出力端子の一側は、電気的にGNDから浮いています(端子部ではDCは0(ゼロ)Vとなっています)。下記のケースにあてはまる場合は当機のご使用をおやめ下さい。

1. 1つのスピーカーユニットを、複数のアンプで駆動する(絶対にお止めください!)
2. 2台のNuForceアンプのSP端子からサブウーファーのハイレベル入力端子へ接続する。
3. NuForceアンプのSP端子のどれにでも、他製品の信号GNDを接続すること。
4. SP内蔵のクロスオーバーを使用した、NuForceアンプによるパッシブバイアンプ駆動。

注意

- 熱放散 -
内部のヒートシンクは、内部の熱を外部へ放射するためにシャーシに取り付けられます。
NuForceアンプの通常の動作温度は、およそ45度です。
NuForceアンプが最大出力で連続運転されるとき、シャーシの温度はおよそ60度程度まで上昇しますので、放熱のための空間を周囲に確保してください。
スピーカー、アンプへの損害を避けるために、ケーブルの着脱を行う場合には必ずNuForceアンプの電源をOFFにしてください。

お気を付けください

- パワーアンプ部の動作開始について-
NuForceのパワーアンプは、回路の動作原理上、電源ONから動作を開始するきっかけとして20mV前後(2mV+/-)の信号レベルを必要とします。動作開始のタイミングは接続したスピーカーや前段の装置によって異なり、また、左右のチャンネルで時間差が生じる事がありますが、故障などではありませんので、予めご了承ください。
一旦動作を開始すれば、パワーアンプの主電源を切ったり、スピーカーのつなぎ換えをしない限りは動作し続けます。

- 電源ON/OFF時のノイズ -
NuForceアンプは構造上、ON/OFF時に接続したスピーカーから小さなポップノイズが発せられます。このノイズがご使用のスピーカーに対して悪影響を与えることはありません。

- ノイズが聞こえる場合 -
NuForceアンプは、周波数特性が100kHzまで伸びています。その結果、構成している部品の劣化などによって、高周波雑音が発生しているCDプレーヤー、DAコンバーターまたはプリアンプなどの上流装置を接続すると、「ジジジ」といったノイズが聞こえることがあります。

- スピーカーの内振りとリスニングポジション -
NuForceアンプは、非常に広くて深い音場再生能力を持っています。その影響を微調整するために、スピーカーの内振りや、リスニングポジションへの距離、スピーカーから後壁や横壁へ

の距離などもいろいろと試してみてください。これらの調整がしっかり行われることによって、より製品の実力を発揮することが出来ます。

- ケーブルの接続 -
スピーカーケーブルを接続するときは、極性を間違えないようにしてください。ラインケーブル、スピーカーケーブルを接続するときは電源をOFFにしておいてください。また、電源をONにした状態で、ケーブルを取り外さないでください。

保証とサービスについて

正しくお使いいただいているなかで、万一本機が故障してしまった場合は、ご購入日より2年間の保証をいたします。ただし、弊社サービス以外による内部の修正や、シリアル番号、購入日の書き換えが見られる場合の保証は認められません。詳しくは製品に添付されている保証書をご確認下さい。

設置の前に

開梱するときには、本体に輸送時の破損が無いことをお調べください。
万一破損を発見された場合は、お買い上げ販売店か弊社までご一報ください。開梱後は、本体の他に下記の内容物が入っているかどうかご確認ください。

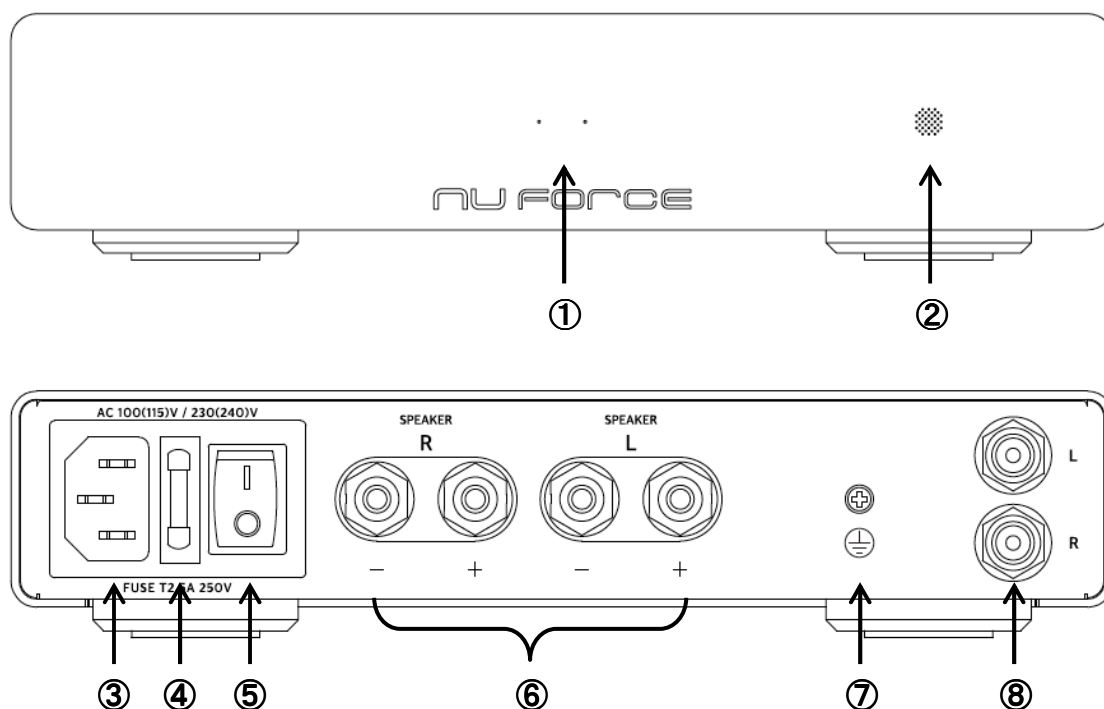
開梱物の確認

- ♦ 電源ケーブル
- ♦ 3ピンアダプター
- ♦ 保証書
- ♦ 本取扱説明書

お引越しや、修理など本体を移動される際は、破損等の事故を防ぐためにも、保証登録書と共に本製品の梱包箱の保管をおすすめします。

クイックスタート

- ◆ RCA入力端子： プリアンプからの出力ケーブルを接続する。
- ◆ スピーカー出力端子： スピーカーへのケーブルを、左右と極性を間違えないように接続する。接続の際はSTA-100の電源SWはOFFの状態で行う。
- ◆ 電源ソケット： 付属の電源ケーブルを使用してコンセントと接続する。

接続

①入力表示LED

電源が投入されると赤色に点灯します。

② リモコン受光部

HAP-100、UDH-100 等に付属しているリモコンで、本体のスタンバイ ON/OFF を操作出来ます。
※ STA-100にリモコンは付属していません。

③ ACコードインレット

付属の電源コードを差し込みます。

④ フューズボックス

⑤主電源スイッチ

「｜」側に倒す　　　　⇒主電源ON
「○」側に倒す　　　　⇒主電源OFF
※ 主電源のOFFは、動作状態から一度スタンバイにしたのち行うことをおすすめいたします。

⑥ スピーカー出力端子

スピーカーケーブルでスピーカー端子と接続してください

⑦ アース端子

⑧ RCA入力 (1系統)

ソース機器と RCA ケーブルで接続してください。

スペック

入力：	RCA x 1 系統	
出力：	5 ウェイバインディングポスト	
電力出力：	160W x 2（4Ω）、80W x 2（8Ω）	
ピーク出力：	324W x 2（4Ω）、162W x 2（8Ω）	
ゲイン：	28.6dB	
入力インピーダンス：	20kΩ	
入力感度：	0.89V（定格出力）	
THD+N	0.01%	
再生周波数帯域：	10Hz-50kHz	
S/N 比：	91dB	
消費電力：	再生時：	437W@180W 出力/4Ω/10%THD+N
	アイドル時：	12.5W

総輸入代理店
フューレンコーディネート

フリーダイヤル
０１２０－００４８８４